

民家園では、さまざまな催しも行われています。

民家での民話語り



県内各地の神楽公演



煤払い体験



園庭にて琴の演奏会



餅つき会

### ▶ 民家園ボランティアを募集しています

主に、茅葺き屋根の燻煙や民家と民家園の環境整備など、民家園事業の支援活動に参加していただきます。週1回程度（半日でも可）の活動です。詳しくは、右記係までお問い合わせください。

【お問い合わせ・お申し込み】

宮崎県総合博物館  
民家園ボランティア係  
Tel 0985-24-2071

### 宮崎県総合博物館 ご利用案内

|      |                                                                                                                                                           |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 観覧時間 | 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）                                                                                                                                   |
| 休館日  | 毎週火曜日（祝日の場合翌日）<br>※民家園は年中開園しています<br><br>・国民の祝日の翌日（土曜日、日曜日 または、休日にあたるときを除く）<br>・年末・年始（12月28日～1月4日）<br>・燻煙による臨時休館<br>・メンテナンスによる臨時休館<br>・特別整理期間（あらかじめ公示する期間） |
| 入館料  | 常設展は無料<br>※各展示会の観覧料はその都度定められます。                                                                                                                           |

|      |                                                                                                                                                                                              |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団体利用 | 団体でご利用いただくときは、事前にご連絡をお願いいたします。                                                                                                                                                               |
| 交通   | ●宮崎交通バス<br>宮崎神宮行き 終点下車徒歩12分<br>綾・国富・平和が丘方面行き<br>「博物館前」下車徒歩3分<br>●JR日豊線「宮崎神宮」駅より徒歩11分<br><br>〒880-0053 宮崎県宮崎市神宮2丁目4番4号<br>Tel 0985-24-2071 Fax 0985-24-2199<br>www.miyazaki-archive.jp/museum |

# 宮崎県総合博物館 民家園のご案内

春には、桜も咲きますよ。  
四季折々、季節を感じて  
ゆったり散歩もお薦めです。

民家園を  
イラスト図解でご案内

民家園・博物館（常設展）の  
入館料は、無料です

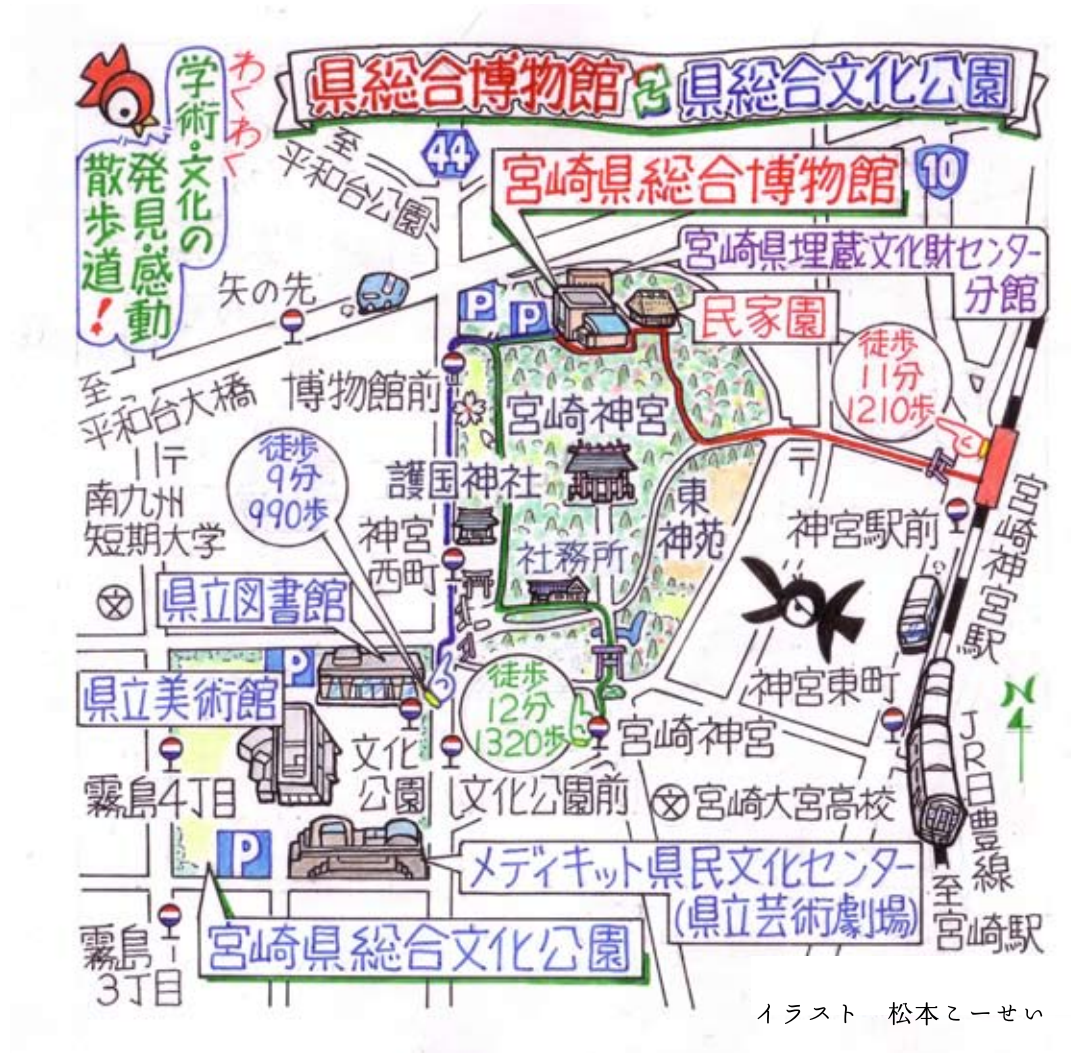


イラスト 松本こーせい

宮崎県内各地には、かつて、その地方独特の建築様式をもった民家が多数ありました。そのなかから特色ある4棟の民家を、宮崎県総合博物館民家園に、昭和47年から昭和53年にかけて移築復元しました。これらの建物は、今から、約150年から200年前に建てられたものです。このうち「旧藤田家住宅」と「旧黒木家住宅」は国の重要文化財、「椎葉の民家」と「米良の民家」は宮崎県の有形文化財にそれぞれ指定されています。



旧藤田家住宅は、九州山地中央部に残る民家の古い形式を伝える数少ない建物で、宮崎県北西部の五ヶ瀬町から移築復元したものです。この民家は、県内で確認されたものとしては最も古いものです。間取りは、「オモテ」と「ヘンヤ」の二つからなっています。間仕切柱の刻銘から、天明7(1787)年に建てられたことがわかっています。

旧黒木家住宅は、高原町にあった郷士の建物を移築復元したものです。この民家は、宮崎県南西部に分布する分棟型農家の典型で、平入の「オモテ」と妻入の「ナカエ」の2棟からなっています。発見された墨書によって、郡奉行の御用宿を勤めたことと、天保5（1834）年から2年間かけて建てられたことがわかっています。

椎葉の民家は、椎葉村にあった清田家住宅を移築復元したものです。この民家は、宮崎県北西部に分布する並列型農家の典型で、間取りは部屋を一列に横に並べる形式で、三つの部屋と土間からなっています。また、手前には、板縁が通っています。解体中に発見された墨書によって、元元治（1864）年に建てられたことがわかっています。

米良の民家は、西米良村にあった黒木家住宅を移築復元したものです。この民家は、山間の三段石積みの上に建てられていたもので、外観、間取りなどに古い西米良の農家の形が残されています。また、がっちりとした骨組みの馬屋もっています。言い伝えにより、文政4（1821）年頃に建てられたとされています。